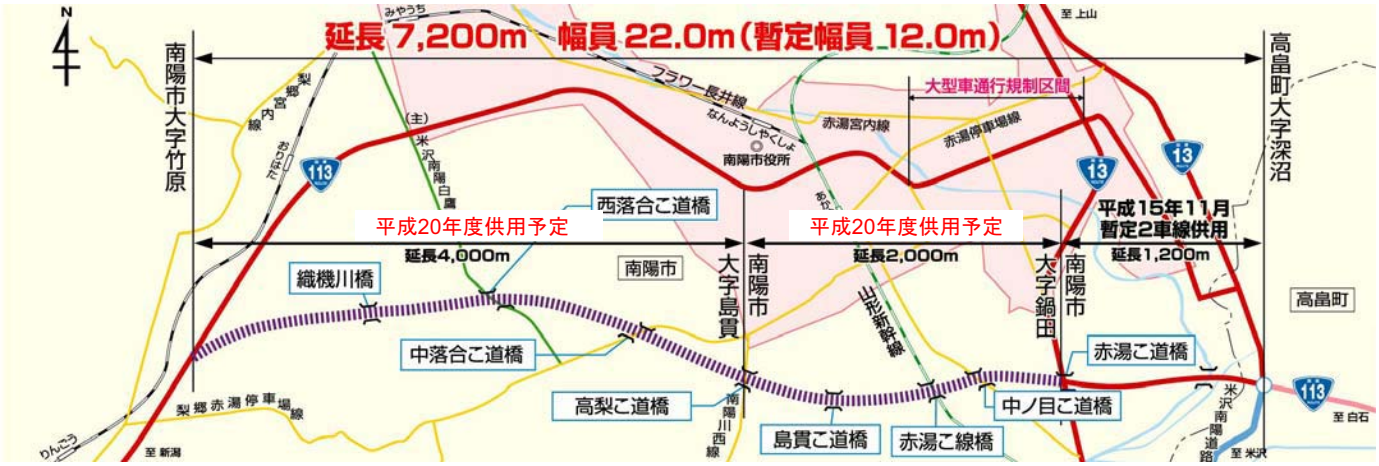
（4）主要事業

1）赤湯バイパス（全線暫定2車線供用）

置賜地域内の連携強化の促進及び国道113号南陽市街地の交通隘路解消のため整備を行っています。

今年度は、南陽市竹原～島貫地内（延長4.0km）の舗装工事を完成させ、暫定2車線で全線供用を図ります。



▼南陽市鍋田から南陽市島貫方面の全景(H19．6月撮影)



▼南陽市島貫地内の工事状況(H19.12月撮影)



2）東北中央自動車道【新直轄区間】（継続）

（福島～米沢間）



東北中央道の福島～米沢間（延長28.6km）は、福島市～米沢市万世町に至る高速道路で、平成14年度より工事着手、土工・構造物工事を推進してきました。また、福島・山形の県境は延長約9kmの栗子トンネルで結ぶ計画となっており、平成17年度より避難坑の掘進工事に着手しています。この区間の整備により、大雨や風雪による事前通行止めの解消、雪による交通障害を解消し、冬期間も安定した交通機能の確保が期待されます。
山形河川国道事務所では、県境～米沢市万世町間（延長11.5km）を担当し、平成20年度は、土工工事、トンネル避難坑工事、構造物工事の推進を図ります。

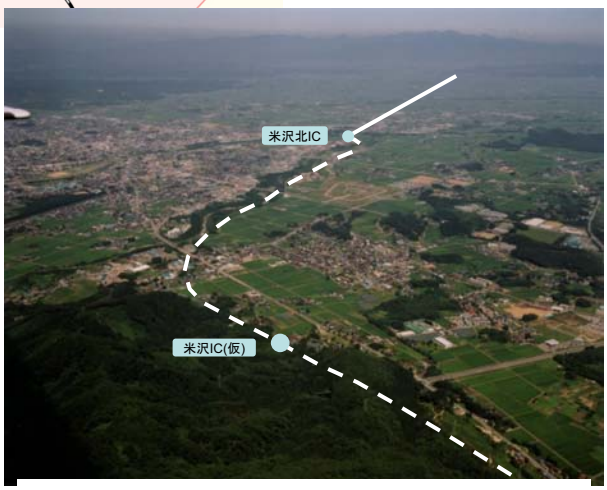


▲米沢市刈安付近より県境方面を望む

（米沢～米沢北間）

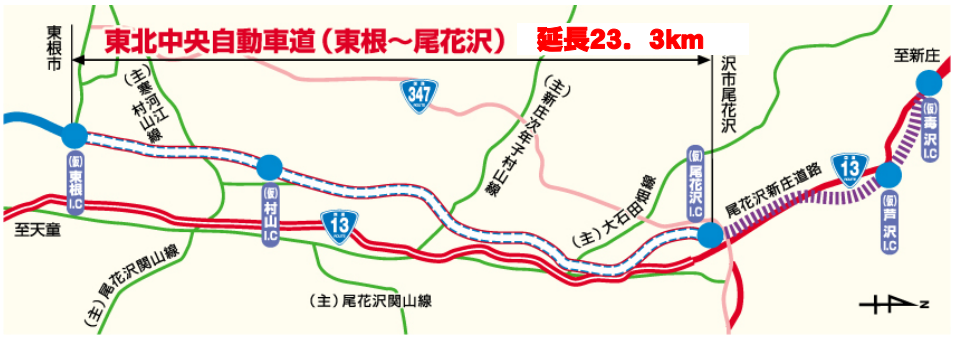


東北中央道の米沢～米沢北間（延長7.8km）は、米沢市万世町～米沢市窪田町に至る高速道路で、工事の進む県境区間（福島～米沢間）と米沢南陽道路を結び、山形県南地域を高速ネットワークへ組み入れ、地域産業の支援（物流の迅速化）、地域連携支援に大きな役割を果たします。
平成20年度は、調査・設計及び用地買収を、土工工事、構造物工事を推進します。



▲米沢IC（仮称）付近より米沢北IC方面を望む

（東根～尾花沢間）



東根～尾花沢間（延長23.3km）は、東根市～尾花沢市に至る高速道路で、平成14年に開通した上山～東根間と現在工事推進中の尾花沢新庄道路を接続し、並行する国道13号の渋滞緩和や信頼性の高いネットワークの充実を図るうえで重要な区間です。
平成20年度は、用地買収、土工工事及び構造物工事を推進します。



▲尾花沢IC（仮称）予定地

3）新庄北道路（継続）

国道13号新庄市松本～十日町間の交通混雑解消、沿道環境改善のため整備を行っています。

今年度は、用地買収、構造物工事及び土工工事を推進します。



▼新庄市松本から十日町方面（H19．7月撮影）



▼指首野川（さすの）橋施工状況（H19．8月撮影）



4）上山バイパス（継続）

国道13号南陽市中川～上山市半郷間の交通混雑解消、安全性向上、沿道環境改善のため整備を行っています。

今年度は、上山市中山地内においては構造物工事、土工工事を推進し、南陽市中川地内においてはトンネル工事を推進します。



▼上山市中山地内の全景（H19．6月撮影）



▼南陽市川樋から上山市中山方面の全景
(H19.6月撮影)

